

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-16)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新しい国語 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、活字と書き文字、画数、筆順などの漢字の知識を扱った『漢字道場』のコーナー、学習する内容を扱った『言葉の力』のコーナーが掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」各領域の学びの学習事項の導入として『学びの扉』のコーナーが掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、『本で世界を広げよう』のコーナーに『戦争・平和』『福祉・共生』などに分類された作品が紹介されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、原爆の惨禍の中で受け継がれる命を扱った『生ましめんかな』などが、各学年で取り上げられている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報を見極める必要性を論じた『「正しい」言葉は信じられるか』などが、各学年で取り上げられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、タンポポの謎を扱った『私のタンポポが研究』などが、各学年で取り上げられている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各教材の冒頭において問いかけが記され、最後の『てびき』のコーナーに『目標』『言葉の力』『振り返り』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、例えば、義肢装具士の義足開発への思いを描いた『風を受けて走れ』では、他教科に関連するマークと、関連する教科として道徳科と保健体育科が記されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、学習のポイントが『飛べ かもめ』の『言葉の力』のコーナーや『学びの扉』のコーナーにおいて掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、筆者のものの見方や考え方、表現の仕方、当時の状況や作者の思いを捉える『伊曾保物語』『枕草子・徒然草』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、「書くこと」の領域では、体験したことを場面に応じた形式で書く活動が『依頼状やお礼状を書こう』などに掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、『学習を始める前に』が設けられているほか、小学校の学習事項を踏まえ、系統的に中学校の学習事項及び『言葉の力』のコーナーが配置されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、各学年にメディア・リテラシーを扱った『「正しい」言葉は信じられるか』などが掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、『話し合いで理解を深めよう』の学習事項が『学びの扉 分類する・比較する』のコーナーに掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 情報の扱い方、言葉の特徴・使い方などを扱った巻末基礎編『学びを支える言葉の力』、『文法解説』、資料編『発想の方法』、折込『学びを支える言葉の力』のコーナー一覧などが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、例えば「読むこと」では、詩を鑑賞する言語活動が『詩の心一発見の喜び』の『言葉の力』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、文章中の表現や語句について考える課題が『辞書に描かれたもの』などの『広がる言葉』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、各学年とも『読書への招待』のコーナーで著名な作家の作品を取り上げ、『作家と作品』では作家の略歴や他の作品などが紹介されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭詩、『目次』『1年で学ぶこと』『学習の進め方・教科書の使い方』『言葉の学習を始めよう』など、本編1章～7章、巻末『基礎編』『資料編』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語》

※詳細については、資料Ⅱ（国語-5～国語-16）を参照。

発行者の略称	三省堂	書名	現代の国語 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、四字熟語など漢字の知識を扱った『漢字のしくみ』のコーナー、学習する内容を扱った『構成を考えたときのポイント』のコーナーが掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」各領域の捉え方、考え方を扱った『思考の方法』のコーナーが掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』では、『生き方』『心』などに分類された作品が紹介されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、被爆者の伝言や後世の人々の思いを扱った『壁に残された伝言』などが、各学年で取り上げられている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、メディアの利点と限界を扱った『情報社会に生きる—メディア・リテラシー』などが、各学年で取り上げられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、世界の水問題を扱った『一〇〇年後の水を守る』などが、各学年で取り上げられている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『学びの道しるべ』のコーナーに『目標の確認』『学習の流れ』『ポイント』『振り返り』の学習過程が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、『源平合戦の名場面』の年表が『平家物語』の折り込みページに掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、学び方の確認『「短歌合評会」のポイント』が『短歌・俳句 表現の仕方』を工夫して豊かに表す』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、音読して古典の世界を感じ取り、ものの見方や感じ方・考え方を捉える『竹取物語』『枕草子・徒然草』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、「書くこと」の領域では、経験に基づいてわかりやすく伝える文章を書く活動が『体験に向き合い意味づける』に掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、未知の世界へ勇気をもって飛び出す姿を描いた物語『竜』、社会の中での自己の生き方を考える『「文殊の智恵」の時代』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、『情報社会に生きる—メディア・リテラシー』を読み、情報と適切に関わって生きることを扱った『複数の情報を関連づけて考えをまとめる』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、『思考の方法』のコーナーで、筆者の思いを抽象化して考える方法が、図解を用いて『希望』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 読書や我が国の伝統文化などを扱った巻末資料編『小さな図書館』『落語 桃太郎』などが、また折込で『思考の方法一覧』などが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、例えば「読むこと」では、考えを伝え合う言語活動が『空中ブランコ乗りのキキ』の『学びの道しるべ』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、『断固』の意味を、似た意味の語句と比較する課題が『玄関扉』などの『語彙を豊かに』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、各学年とも『私の読書体験』のコーナーで著名な作家による文章が掲載され、その作家の作品が紹介されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 『目次』『領域別教材一覧』この教科書の使い方 確かな言葉の力をつけるために』、本編1章～9章、巻末『文法のまとめ』『読書の広場』『資料編』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、ユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-16)を参照。

発行者の略称	教出	書名	伝え合う言葉 中学国語3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、漢字の多義性などの知識を扱った『漢字の広場』のコーナー、学習する内容を認識する手だてを扱った『学びナビ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」各領域の伝え合う力を高める『学びのチャレンジ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、『広がる本の世界』のコーナーに『表現／対話／思想』『自然／環境／科学』などに分類された作品が紹介されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「生命の尊厳」について、生きることの意義や人権、平和への思いを受け継ぐことを扱った『夏の葬列』などが、各学年で取り上げられている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報を批判的に読み解く力を扱った『メディア・リテラシーはなぜ必要か』などが、各学年で取り上げられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「自然や人とのふれあい体験」について、森と海をつなぐメカニズムを扱った『森には魔法つかいがある』などが、各学年で取り上げられている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各教材の冒頭に目標が記され、『みちしるべ』のコーナーに『言葉と表現』『振り返り』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、学んだことを学校行事などで役立てられることが『説得力のある提案をする』の『学びを生かそう』のコーナーに掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、学習に入る前に、学びに向かう構えとして『学びナビ』のコーナーが『調べた内容で聞く』などに掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、音読して内容を捉え、古人のものの見方や考え方、情景・心情を考える『物語の始まり』『敦盛の最期』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、「書くこと」の領域では、体験をもとに情報を集め、整理して文章を書く活動が『材料を整理して案内文を書く』などに掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学での文学作品の学習の仕方を扱った『文学入門』や『学びナビ 物語と小説って何?』のコーナーなどが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、編集されたメディアの特徴を扱った『全ては編集されている』など、各学年でメディア・リテラシーに関する教材が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、『虹の足』などの始めに『学びナビ』のコーナーが設定され、取り組む学習について図解が掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 言葉の特徴や使い方、読書などを扱った巻末資料『言葉の自習室』『話すこと・書くことテーマ例集』、折込『表現に役立つ言葉』のコーナーなどが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、例えば「読むこと」では、文章の構成を捉える言語活動が『自分の脳を知っていますか』の『学びナビ』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、文章中の表現や語句について考える課題が『自分の脳を知っていますか』などの『表現と言葉』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、各学年とも『読書への招待』のコーナーで著名な作家の作品を取り上げ、『作品解説』や作家の略歴などが掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭文、『目次』『言葉の地図』、本編一章～九章(3学年一章～八章)、『学びのチャレンジ』のコーナー、『言葉と文法解説編』『言葉の自習室』『折込』『漢字』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『画数や筆順が正確に理解できるよう配慮した書体を、本文に使用しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを、タイトルの一部に使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-16)を参照。

発行者の略称	光村	書名	国語3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、漢字の組み立てと部首などの漢字の知識を扱った『漢字』のコーナー、学習する内容を扱った『学習の窓』のコーナーが掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」各領域の思考方法を扱った『思考の地図』のコーナーが掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、『本の世界を広げよう』のコーナーに『中学校生活』『ファンタジー』などに分類された作品が紹介されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「生命の尊厳」について、戦時下の生活の様子や、平和への思いを扱った『大人になれなかった弟たちに……』などが、各学年で取り上げられている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「情報化」について、メディアの選び方を扱った『メディアの特徴を生かして情報を集めよう』などが、各学年で取り上げられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「自然や人とのふれあい体験」について、自然環境の保全を扱った『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』などが、各学年で取り上げられている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各教材の冒頭に目標が、『学習』のコーナーに『見通しをもつ』から『振り返る』までの学習過程が、それぞれ掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連して、名画の『解剖学』『遠近法』『明暗法』が『君は「最後の晩餐」を知っているか』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、学習する内容が『助言を自分の文章に生かそう』の『学習の窓 自分が書いた文章をよりよくするには』のコーナーなどに掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、音読して古典の世界に親しみ、表現の仕方や文体の特徴に着目し読み味わう『蓬萊の玉の枝』『扇の的』などが示されている</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、「書くこと」の領域では、日常の体験から題材を選び目的に応じた文章を書く活動が『根拠の適切さを考えて書こう』などに掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校での既習事項の確認『言葉に出会うために』や高校での古典学習に向けて『文語の活用』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、『情報を集めよう』『情報を読み取ろう』『情報を引用しよう』などを扱った『情報整理のレッスン』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、『情報を整理して書こう』などの章末に、学習の手順が掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方などを扱った巻末『思考のレッスン』一覧、表現テーマ例集、『語彙を豊かに』、折込『学習の窓一覧』などが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、例えば「読むこと」では、場面や描写を結び付けて読む言語活動が『星の花が降るころに』の『学習の窓』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、言葉を集めたり比べたり選んだりする課題が『言葉を集めよう もっと伝わる表現を目ざして』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、各学年とも『読書コラム』のコーナーが設けられ、『翻訳作品を読み比べてみよう』では異なる訳者の『星の王子様』の翻訳の一部などが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭詩、『目次』『この教科書で学習するみなさんへ』など、本編1章～8章、巻末『文法・漢字・振り返り』『学習を広げる』『学習の窓一覧』などで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。』『生徒の学習負担を軽減できるよう、手書き文字との差異が少ない明朝体を開発し、本文に使用しています。』『新出漢字の送り仮名や読書案内などの小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《国語》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	<p>「知識・技能」の習得について、第1学年では、活字と書き文字、画数、筆順などの漢字の知識を扱った『漢字道場』のコーナーが掲載されている。『メモを取り、質問する』などの学習する内容を扱った『言葉の力』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「知識・技能」の習得について、第2学年では、『形の似た漢字』などの漢字の知識を扱った『漢字道場』のコーナーが掲載されている。『文章と図表などを結びつけて理解する』などの学習する内容を扱った『言葉の力』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「知識・技能」の習得について、第3学年では、『他教科で学ぶ漢字』などの漢字の知識を扱った『漢字道場』のコーナーが掲載されている。『相手や目的に応じて、話の内容や構成を考える』などの学習する内容を扱った『言葉の力』のコーナーが掲載されている。</p>
三省堂	<p>「知識・技能」の習得について、第1学年では、部首と成り立ちなどの漢字の知識を扱った『漢字のしくみ』のコーナーが掲載されている。『構成を工夫して魅力を伝える』など学習する内容を扱った『構成を考えるときのポイント』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「知識・技能」の習得について、第2学年では、熟語の構成・熟字訓などの漢字の知識を扱った『漢字のしくみ』のコーナーが掲載されている。『情報を関連付けて根拠を明確に示す』など学習する内容を扱った『投稿文を書く時のポイント』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「知識・技能」の習得について、第3学年では、四字熟語などの漢字の知識を扱った『漢字のしくみ』のコーナーが掲載されている。『状況に応じて話す力を養う』など学習する内容を扱った『状況に応じて話すときのポイント』のコーナーが掲載されている。</p>
教出	<p>「知識・技能」の習得について、第1学年では、漢字の部首など漢字の知識を深める解説と練習問題を扱った『漢字の広場』のコーナーが掲載されている。『内容を整理して説明する』などの学習する内容を認識する手だてを扱った『学びナビ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「知識・技能」の習得について、第2学年では、漢字の多義性など漢字の知識を深める解説と練習問題を扱った『漢字の広場』のコーナーが掲載されている。『相違点を明確にして聞く』などの学習する内容を認識する手だてを扱った『学びナビ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「知識・技能」の習得について、第3学年では、異字同訓など漢字の知識を深める解説と練習問題を扱った『漢字の広場』のコーナーが掲載されている。『説得力のある批評文を書く』などの学習する内容を認識する手だてを扱った『学びナビ』のコーナーが掲載されている。</p>
光村	<p>「知識・技能」の習得について、第1学年では、漢字の組み立てと部首など漢字の知識を深める解説と練習問題を扱った『漢字』のコーナーが掲載されている。『描写に着目する』などの学習する内容を扱った『学習の窓』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「知識・技能」の習得について、第2学年では、熟語の構成など漢字の知識を深める解説と練習問題を扱った『漢字』のコーナーが掲載されている。『明確な意見文を書くには』などの学習する内容を扱った『学習の窓』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「知識・技能」の習得について、第3学年では、熟語の読み方など漢字の知識を深める解説と練習問題を扱った『漢字』のコーナーが掲載されている。『話し合っ合意を形成するには』などの学習する内容を扱った『学習の窓』のコーナーが掲載されている。</p>
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	<p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、話の中心を明確にし構成を考えることを扱った『中心を明確にして話そう』が掲載されている。『描写や表現技法を用いる』など、各領域の学びの導入を扱った『学びの扉』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、根拠の適切さについて吟味し、工夫して、意見文を書くことを扱った『根拠を吟味して書こう』が掲載されている。『相手の立場を踏まえ、考えを深める』など、各領域の学びの導入を扱った『学びの扉』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、登場人物の思いを考えながら、自分の意見を持つことを扱った『故郷』が掲載されている。『論理的に読む』など、各領域の学びの導入を扱った『学びの扉』のコーナーが掲載されている。</p>
三省堂	<p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、話題や展開にそって話し合いをつなげることを扱った『グループディスカッション』が掲載されている。各領域の捉え方、考え方を扱った『思考の方法 仮定する』などのコーナーが掲載されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることを扱った『情報を関連付けて根拠を明確に示す』が掲載されている。各領域の捉え方、考え方を扱った『思考の方法 順序立てる』などのコーナーが掲載されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価することを扱った『握手』が掲載されている。各領域の捉え方、考え方を扱った『思考の方法 多角的に見る』などのコーナーが掲載されている。</p>
教出	<p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめることを扱った『子どもの権利』が掲載されている。各領域の伝え合う力を高める問題を扱った『学びのチャレンジ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、集めた情報を整理して課題を解決することを扱った『観点を明確にして伝える』が掲載されている。各領域の伝え合う力を高める問題を扱った『学びのチャレンジ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、読み手に説明するために構成を工夫して書くことを扱った『具体例をもとに説明文を書く』が掲載されている。各領域の伝え合う力を高める問題を扱った『学びのチャレンジ』のコーナーが掲載されている。</p>
光村	<p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、実際にスピーチを行い振り返りをして、感想を伝え合うことを扱った『話の構成を工夫しよう』が掲載されている。各領域の場面や目的に応じた思考方法を扱った『思考の地図』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、題材を決めて情報を集め、完成した作品の感想を伝え合うことを扱った『多様な方法で情報を集めよう』が掲載されている。各領域の場面や目的に応じた思考方法を扱った『思考の地図』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、登場人物の人物像や心情を読み取り生き方や価値観を考えることを扱った『握手』が掲載されている。各領域の場面や目的に応じた思考方法を扱った『思考の地図』のコーナーが掲載されている。</p>

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年の『本で世界を広げよう』のコーナーでは、『戦争・平和』に分類された『ぼくは満員電車で原爆を浴びた』や、『福祉・共生』に分類された『義足のアスリート山本篤』などの作品が紹介されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年の『本で世界を広げよう』のコーナーでは、『考え方・生き方』に分類された『たまごを持つように』や、『日本文化』に分類された『日本の食を考える』などの作品が紹介されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年の『本で世界を広げよう』のコーナーでは、『国際理解・人権』に分類された『医者のおまご、世界を転がる。』や、『現代社会』に分類された『働くってどんなこと？人はなぜ仕事をするの？』などの作品が紹介されている。</p>
三省堂	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年の『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』では、『生き方』に分類された『才能とは続けられること』や、『心』に分類された『自分を好きになる本 新装改訂版』などの作品が紹介されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年の『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』では、『生き方』に分類された『ぼくは恐竜探検家！』や、『心』に分類された『考える練習をしよう 普及版』などの作品が紹介されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年の『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』では、『生き方』に分類された『世界を、こんなふうに見てごらん』や、『心』に分類された『14歳からの哲学』などの作品が紹介されている。</p>
教出	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年の『広がる本の世界』のコーナーでは、『表現／対話／思想』に分類された『こだまでしょうか、いいえ、誰でも。』や、『自然／環境／科学』に分類された『自分では気づかない、ココロの盲点 完全版』などの作品が掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年の『広がる本の世界』のコーナーでは、『自己／他者／物語』に分類された『エイジ』や、『自然／環境／科学』に分類された『ぼくの職場は富士山です』などの作品が掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年の『広がる本の世界』のコーナーでは、『自己／他者／物語』に分類された『あるような ないような』や、『人権／多様性／平和』に分類された『無言館の青春』などの作品が掲載されている。</p>
光村	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年の『本の世界を広げよう』のコーナーでは、『中学校生活』に分類された『数の悪魔』や、『ファンタジー』に分類された『空色勾玉』などの作品が掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年の『本の世界を広げよう』のコーナーでは、『外国文学』に分類された『赤毛のアン』や、『戦争・平和』に分類された『綾瀬はるか「戦争」を聞く』などの作品が掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年の『本の世界を広げよう』のコーナーでは、『本の本』に分類された『旅する絵描き』や、『社会』に分類された『転換期を生きるきみたちへ』などの作品が掲載されている。</p>

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)

東書	<p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、原爆の悲劇を扱った『碑』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『太陽ときみの声』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第2学年では、戦時中の日本に生きる家族の絆を扱った『字のない葉書』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『おれのおばさん』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第3学年では、原爆の惨禍の中で受け継がれる命を扱った『生ましめんかな』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『医者のおたまご、世界を転がる。』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p>
三省堂	<p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、家族のきずな、生命を尊ぶ態度を扱った『字のない葉書』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『テオの「ありがとう」ノート』などが『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』で紹介されている。</p> <p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第2学年では、被爆者の伝言や後世の人々の思いを描いた『壁に残された伝言』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『犬が来る病院』などが『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』で紹介されている。</p> <p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第3学年では、強制収容所から生還し、希望を失わずに生き延びた人物を描いた『希望』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『サクリファイス』などが『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』で紹介されている。</p>
教出	<p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、差別・迫害問題や人権、平和への思いを受け継ぐことを扱った『ベンチ』が取り上げられている。『広がる本の世界』のコーナー及び『言葉の自習室』のコーナーで、[思いやる力]に関連した図書『杉原千畝物語』などが紹介されている。</p> <p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第2学年では、生きることの意義や人権、平和への思いを受け継ぐことを扱った『夏の葬列』が取り上げられている。『広がる本の世界』のコーナー及び『言葉の自習室』のコーナーで、[思いやる力]に関連した図書『共に生きるということ』などが紹介されている。</p> <p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第3学年では、戦時下の生き方や人権、平和への思いを受け継ぐことを扱った『薔薇のボタン』が取り上げられている。『広がる本の世界』のコーナー及び『言葉の自習室』のコーナーで、[思いやる力]に関連した図書『いのちの食べ方』などが紹介されている。</p>
光村	<p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、戦時下の生活や戦争、平和への思いを扱った『大人になれなかった弟たちに…』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『生きもののおきて』などが『読書案内 本の世界を広げよう』で紹介されている。</p> <p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第2学年では、親子の心の結びつきを描いた『字のない葉書』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『101人が選ぶ「とっておきの言葉」』などが『読書案内 本の世界を広げよう』で紹介されている。</p> <p>[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第3学年では、隣り合わせにある平和と戦争について述べた『挨拶-原爆の写真に寄せて』が取り上げられている。[思いやる力]に関連した図書『旅する絵描き』などが『読書案内 本の世界を広げよう』で紹介されている。</p>

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)

東書	<p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第1学年では、情報を見極める必要性を取り上げた『ニュースの見方を考えよう』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『義足のアスリート山本篤』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第2学年では、事実と言葉の関係性を取り上げた『「正しい」言葉は信じられるか』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『敗北を力に!』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、情報メディアの意義について考えを深める『いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『14歳からの仕事道』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p>
三省堂	<p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第1学年では、『複数の情報を関連付けて考えをまとめる』で、防災に関するデータと文章を関連付けて考えをまとめる課題が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『才能とは続けられること』などが『小さな図書館』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第2学年では、『複数の情報を関連付けて考えをまとめる』で、共生社会に関するデータと文章を関連付けて考えをまとめる課題が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『夢へ翔けて』などが『小さな図書館』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、『複数の情報を関連付けて考えをまとめる』で、メディアがもたらす利点と限界を扱った『情報社会に生きる—メディア・リテラシー』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『君たちはどう生きるか』などが『小さな図書館』のコーナーで紹介されている。</p>
教出	<p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第1学年では、メディアの編集の可能性と危険性を扱った『全ては編集されている』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『池上彰のメディア・リテラシー』などが『広がる本の世界』のコーナーや『言葉の自習室』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第2学年では、SNSの利用を扱った『SNSから自由になるために』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『コミュニケーションの日本語』などが『広がる本の世界』のコーナーや『言葉の自習室』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、メディア・リテラシーを扱った『メディア・リテラシーはなぜ必要か』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『語彙力を鍛える』などが『広がる本の世界』のコーナーや『言葉の自習室』のコーナーで紹介されている。</p>
光村	<p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第1学年では、情報収集を扱った『情報を集めよう』などが掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『精霊の守り人』などが『読書案内 本の世界を広げよう』で紹介されている。</p> <p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第2学年では、メディアの選び方を扱った『メディアの特徴を生かして情報を集めよう』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『ロビンソン・クルーソー』などが『読書案内 本の世界を広げよう』で紹介されている。</p> <p>[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、実用的文章の生活の中での生かし方を扱った『実用的な文章を読もう』が掲載されている。[たくましく生きる力]に関連した図書『学ぶこと 思うこと』などが『読書案内 本の世界を広げよう』で紹介されている。</p>

⑥ [社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)

(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)

東書	<p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第1学年では、在来種と外来種のタンポポの謎を扱った『私のタンポポ研究』が掲載されている。[社会とかかわる力]に関連した図書『音のない世界と音のある世界をつなぐ』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第2学年では、スズメの減少とその住処を扱った『スズメは本当に減っているか』が掲載されている。[社会とかかわる力]に関連した図書『ミライの授業』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第3学年では、人間社会と自然とのかかわりを扱った『自然との共存—小笠原諸島』が掲載されている。[社会とかかわる力]に関連した図書『大人になったらしたい仕事』などが『読書案内』の『本で世界を広げよう』のコーナーで紹介されている。</p>
三省堂	<p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第1学年では、クジラの生態について説明した教材『クジラの飲み水』が掲載されている。『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』で、[社会とかかわる力]に関連した図書『10代からの情報キャッチボール入門』などが紹介されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第2学年では、世界の水問題を扱った『一〇〇年後の水を守る』が掲載されている。『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』で、[社会とかかわる力]に関連した図書『私、日本に住んでいます』などが紹介されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第3学年では、科学的な思考力と柔軟な想像力を扱った『フロン規制の物語—&lt;杞憂&gt;と&lt;転ばぬ先の杖&gt;のはざままで』が掲載されている。『読書の広場』のコーナーの『小さな図書館』で、[社会とかかわる力]に関連した図書『聞く力、話す力』などが紹介されている。</p>
教出	<p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第1学年では、森と海をつなぐ科学的なメカニズムを扱った『森には魔法つかいがある』が掲載されている。『広がる本の世界』のコーナーや『言葉の自習室』のコーナーで、[社会とかかわる力]に関連した図書『木のいのち木のこころ』などが紹介されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第2学年では、富士山麓の雄大な自然の恩恵を扱った『水の山 富士山』が掲載されている。『広がる本の世界』のコーナーや『言葉の自習室』のコーナーで、[社会とかかわる力]に関連した図書『ぼくの職場は富士山です』などが紹介されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第3学年では、自然の流れと生命のありようを扱った『生命とは何か』が掲載されている。『広がる本の世界』のコーナーや『言葉の自習室』のコーナーで、[社会とかかわる力]に関連した図書『NASAより宇宙に近い町工場』などが紹介されている。</p>
光村	<p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第1学年では、身近な生き物の生態を観察に基づき、自然環境の保全の大切さに気づかせる『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』が掲載されている。『読書案内 本の世界を広げよう』のコーナーで、[社会とかかわる力]に関連した図書『学習に役立つ! なるほど新聞活用術』などが紹介されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第2学年では、大自然の中に身を置く主人公の生き方について自分と比較しながら考える『アイスプラネット』が掲載されている。『読書案内 本の世界を広げよう』のコーナーで、[社会とかかわる力]に関連した図書『多文化に出会うブックガイド』などが紹介されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、第3学年では、自然環境の保全に寄与する力に関する『作られた「物語」を超えて』が掲載されている。『読書案内 本の世界を広げよう』のコーナーで、[社会とかかわる力]に関連した図書『転換期を生きるきみたちへ』などが紹介されている。</p>



3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	<p>主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、『オオカミを見る目』で冒頭に問いかけが記され、最後の『てびき』のコーナーに『目標』『言葉の力』『振り返り』が掲載されている。興味を引きつけたり、わかりやすく伝えたりするための、文章の書き方の工夫について話し合う課題が掲載されている。</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、『黄金の扇風機』『サハラ砂漠の茶会』で冒頭に問いかけが記され、最後の『てびき』のコーナーに『目標』『言葉の力』『振り返り』が掲載されている。2つの文章を読み比べ、美についての主張を読み取る課題が掲載されている。</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、『幸福について』で冒頭に問いかけが記され、最後の『てびき』のコーナーに『目標』『言葉の力』『振り返り』が掲載されている。文章を読んで自分の考えを持ち、議論の仕方を踏まえて話し合うことが掲載されている。</p>
三省堂	<p>主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、『クジラの飲み水』で『学びのみちしるべ』のコーナーに『目標の確認』『学習の流れ』『ポイント』『振り返り』の学習の過程が掲載されている。『ペンギンの防寒着』と読み比べて考えたことを発表する課題が掲載されている。</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、『セミロングホームルーム』で『学びのみちしるべ』のコーナーに『目標の確認』『学習の流れ』『ポイント』『振り返り』の学習の過程が掲載されている。話の主人公が誰かについて理由と合わせてグループで話し合う課題が掲載されている。</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、『希望』で『学びのみちしるべ』のコーナーに『目標の確認』『学習の流れ』『ポイント』『振り返り』の学習の過程が掲載されている。人間が生きる上での『希望』について話し合い、考えを深める課題が掲載されている。</p>
教出	<p>主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、『オツベルと像』の冒頭に目標が示され、『みちしるべ』のコーナーに『言葉と表現』『振り返り』が掲載されている。読みを深めるために、『学びナビ』のコーナーに、『語り手と視点人物』についての説明が掲載されている。</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、『夏の葬列』の冒頭に目標が示され、『みちしるべ』のコーナーに『言葉と表現』『振り返り』が掲載されている。読みを深めるために、『学びナビ』のコーナーに、『時間と構成』についての説明が掲載されている。</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、『A Iは哲学できるか』の冒頭に目標が示され、『みちしるべ』のコーナーに『言葉と表現』『振り返り』が掲載されている。読みを深めるために、『学びナビ』のコーナーに、『批判的に読みながら主張に迫る』ことについての説明が掲載されている。</p>
光村	<p>主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、『ちょっと立ち止まって』で冒頭に目標が、単元末『学習』のコーナーには『見通しをもつ』から『振り返る』までの学習過程が掲載されている。結論を導くために、序論と本論が果たしている役割について考える課題が掲載されている。</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、『アイスプラネット』で冒頭に目標が、単元末『学習』には『見通しをもつ』から『振り返る』までの学習過程が掲載されている。主人公の考え方や生き方について、自分の生活や経験などと比べながら感想をまとめる課題が掲載されている。</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、『作られた「物語」を超えて』で冒頭に目標が、単元末『学習』には『見通しをもつ』から『振り返る』までの学習過程が掲載されている。自分の体験や見聞きした事例を根拠にして、筆者の主張に共感できるか否かを話し合う課題が掲載されている。</p>

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、義肢装具士の義足開発への思いを描いた文章が道徳科・保健体育科に関連することが、『風を受けて走れ』にマークで掲載されている。社会科、理科、技術・家庭科、保健体育科の学習で使われる漢字が『漢字道場』のコーナーに掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、社会科、数学科、理科、技術・家庭科、保健体育科の学習で使われる漢字が『漢字道場』のコーナーに掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、文章の内容が理科に関連していることが、『絶滅の意味』にマークで掲載されている。社会科、数学科、理科、技術・家庭科、保健体育科の学習で使われる漢字が『漢字道場』のコーナーに掲載されている。</p>
三省堂	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、序論・本論・結論といった説明文の基本構造について『読み方を学ぼう1 ペンギンの防寒着』のコーナーに掲載されている。総合的な学習と関連して、『編集会議』『記事を書く』『紙面を作る』『読み合う』の学習活動が『グループ新聞』に掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、人物と人物相互の関係について『読み方を学ぼう1 人物設定』のコーナーに掲載されている。社会科と関連して、『源平合戦の名場面』の年表が『平家物語』の折り込みページに掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、批判的な読みについて『読み方を学ぼう2 「批判的に読む」とは』のコーナーに掲載されている。技術科(情報)と関連して、ポスターの『比較の観点』が『実用文 広告の読み比べ』に掲載されている。</p>
教出	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、自分の意見を明確にすることが『資料から得た根拠をもとに意見文を書く』の『学びを生かそう』のコーナーに掲載されている。説明的文章における序論・本論・結論の文章構成について『学びナビ 文章の構成を捉える』のコーナーに掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、学校行事などで自分の意見を提案するときに役立つことが『説得力のある提案をする』の『学びを生かそう』のコーナーに掲載されている。湧水をめぐって富士山麓のしくみや構造に注目した内容が、理科との関連学習として『水の山 富士山』に掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、レポートを書く方法について『具体例をもとに説明文を書く』の『学びを生かそう』のコーナーに掲載されている。裁判員が『評議』で根拠を踏まえて主張し、話し合いで一つの結論を導くことに触れた内容が、社会科との関連学習として『自分の意見を述べるとき』に掲載されている。</p>
光村	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科、技術・家庭科(家庭分野)と関連して、ダイコンの器官の説明と味や調理法の違いについて『ダイコンは大きな根?』に掲載されている。道徳科の自主・自立、向上心に関連した内容が『考える人になろう』に掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、美術科と関連して、名画の『解剖学』『遠近法』『明暗法』を説明した内容が『君は「最後の晩餐」を知っているか』に掲載されている。道徳科の生命の尊さ・家族愛に関連した内容が『字のない葉書』に掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、社会科と関連して、フォト・ジャーナリストが内戦下の国に生きる少女について描いた内容が『エルサルバドルの少女 ヘスース』に掲載されている。道徳科の国際理解に関連した内容が『作られた「物語」を超えて』に掲載されている。</p>

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、第1学年では、学習のポイントが『飛べかもめ』の『言葉の力』のコーナーや『学びの扉』のコーナーなどに掲載されている。メモを取り、質問することについて『話を聞いて質問しよう』に掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、学習のポイントが『サハラ砂漠の茶会』の『言葉の力』のコーナーや『学びの扉』のコーナーなどに掲載されている。情報を集めることについて『郷土の良さを伝えよう』に掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、学習のポイントが『絶滅の意味』の『言葉の力』のコーナーや『学びの扉』のコーナーなどに掲載されている。俳句を鑑賞することについて『俳句の読み方、味わい方』に掲載されている。
三省堂	言語能力の育成について、第1学年では、『課題を決めるときのポイント』が掲載されている。『詩の表現技法』に表現力をつける学習活動が『レポート 調べたことを整理してわかりやすくまとめる』に掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、『「短歌合評会」のポイント』が掲載されている。『創作文』に読み手を引きつける言語能力を高める学習活動が『短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す』に掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、『情報を発信するときのポイント』が『ポスター 情報の信頼性を確かめて考えを発信する』に掲載されている。言語能力を高める学習活動が『読み方を学ぼう』のコーナーに掲載されている。
教出	言語能力の育成について、第1学年では、『調べた内容を聞く』の課題解決の方法や結果を考えることについて『学びナビ 予想する』のコーナーに掲載されている。資料を読み取る力と表現力を高める学習活動が『学びのチャレンジ』のコーナーに掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、文学作品を読む上での語り手の位置について、『走れメロス』の『学びナビ 変化する語り』のコーナーに掲載されている。表現による違いを知る学習活動が『少しだけ変えてみる』に設定されている。 言語能力の育成について、第3学年では、一人称で語られた小説の特徴について『故郷』の『学びナビ 「私」が語る<私>』のコーナーに掲載されている。言語能力を高める基本的な視点が『助詞のはたらき』に記載されている。
光村	言語能力の育成について、第1学年では、学習する内容が『助言を自分の文章に生かそう』の『学習の窓 自分が書いた文章をよりよくするには』のコーナーに掲載されている。『レポートの例』が『根拠を示して説明しよう』に掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、学習する内容が『モアイは語る—未来の地球』の『学習の窓 論理の展開を吟味する』のコーナーに掲載されている。『自分の立場・意見』の例が『立場を尊重して話し合おう』の『考えをまとめる』に掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、学習する内容が『人間と人工知能と創造性』の『学習の窓 文章を批判的に読む』のコーナーに掲載されている。『合意形成に向けて話し合おう』の『座標軸で整理した例』が掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、歴史的仮名遣いに注意して音読し、古文の読み方に慣れる『伊曾保物語』が掲載されている。現代語とは異なる言葉や表現に注意して音読し、古典の世界に触れる『竹取物語』が掲載されている。 伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える『枕草子・徒然草』が掲載されている。表現の特徴に注意して朗読し、古典の世界に親しむ『平家物語』が掲載されている。 伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ『万葉・古今・新古今』が掲載されている。当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ『おくのほそ道』が掲載されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、古典の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じ取る『竹取物語』が掲載されている。訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する『故事成語—矛盾』が掲載されている。 伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える『枕草子・徒然草』が掲載されている。語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう『平家物語』が掲載されている。 伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る『和歌の世界』が掲載されている。歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える『おくのほそ道』が掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える『物語の始まり』が掲載されている。いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する『故事成語』が掲載されている。 伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める『教盛の最期』が掲載されている。古人のものの見方や考え方に対して自分の考えを持つ『随筆の味わい』が掲載されている。 伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする『旅への思い』が掲載されている。古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める『和歌の調べ』が掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通してその世界に親しむ『蓬萊の玉の枝』が掲載されている。漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ『今に生きる言葉』が掲載されている。 伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ『扇の的』が掲載されている。漢詩を朗読し、独特の言葉や調子を生かして読み味わう『漢詩の風景』が掲載されている。 伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しむ『君待つと』が掲載されている。歴史的背景などに注意し、表現の仕方や文体の特徴に着目して読み味わう『夏草』が掲載されている。

⑪ 体験活動の充実

東書	<p>体験活動の充実について、第1学年では、「書くこと」において運動会の案内状を書く活動が『案内や報告の文章を書こう』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」においては、自己紹介を聞いてインタビューする活動が『話を聞いて質問しよう』に掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、「書くこと」において職場体験の依頼状・お礼状を書く活動が『依頼状やお礼状を書こう』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」においては、相手の考えを聞き、自分の考えと比べる活動が『考えを比べながら聞こう』に掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、「書くこと」において調べたことを新聞にまとめる活動が『編集して伝えよう』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」においては、場面を想定したスピーチをする活動が『場面に応じて話そう』に掲載されている。</p>
三省堂	<p>体験活動の充実について、第1学年では、「書くこと」において体験したことを随筆に書く活動が『体験に向き合い意味づける』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」では少人数で意見交換をする活動が『話題や展開にそって話し合いをつなげる』に掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、「書くこと」においてお礼や報告、依頼などの文を書く活動が『心をこめてわかりやすく書く』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」では編集会議で話し合い文章にまとめる活動が『地域の魅力を振り返って』に掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、「書くこと」において社会生活の課題についてのポスターを書く活動が『情報の信頼性を確かめて考えを発信する』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」では公の場で提案や主張をする活動が『状況に応じて話す力を養う』に掲載されている。</p>
教出	<p>体験活動の充実について、第1学年では、「書くこと」において合唱発表会案内文を書く活動が『材料を整理して案内文を書く』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」では話し合いで他のグループとの共通点や相違点をもとに考えをまとめる活動が『調べた内容を聞く』に掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、「書くこと」において職場体験のお礼状を書く活動が『構成を明確にして手紙を書く』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」ではよりよい対話の方法を知り、人との関係を深める活動が『質問する力をつける』に掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、「書くこと」において自分が書いてきた作品をまとめる活動が『情報をまとめて作品集を作る』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」では意見を共有しながら話し合う活動が『「対話力」とは何か』に掲載されている。</p>
光村	<p>体験活動の充実について、第1学年では、「書くこと」においてわかりやすく説明する文章を書く活動が『情報を整理して書く』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」においてたぐみな質問で話を引き出し対話する活動が『聞き上手になろう』に掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、「書くこと」において意見を明確に伝える文章を書く活動が『根拠の適切さを考えて書こう』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」において相手が知りたい情報を集め印象に残る提案をする活動が『魅力的な提案をしよう』に掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、「書くこと」において伝えたいことを魅力的に表現する文章を書く活動が『文章の種類を選んで書こう』に掲載されている。「話すこと・聞くこと」において自分の考えと比べ意識して聞く活動が『評価しながら聞く』に掲載されている。</p>

⑫ 学校段階間の円滑な接続

東書	<p>学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年の資料編に『学習を始める前に』が設けられており、『ノートの書き方』『情報の調べ方』『辞書の引き方』などの、国語学習を進める上での基本事項が掲載されているほか、小学校の学習事項を踏まえ、系統的に中学校の学習事項及び『言葉の力』のコーナーが配置されている。</p> <p>高校との接続として、第3学年の資料編に発展学習としての『古典の文法』の知識が整理して掲載されている。</p>
三省堂	<p>学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年の初めに、未知の世界へ勇気をもって飛び出す姿を描いた物語『竜』が掲載されている。小学校で学習した読解の基礎・基本の確認が『ペンギンの防寒着』に掲載されている。</p> <p>高校との接続として、第3学年の最後に、社会や世界の変化の中で違いを認めながら自己の生き方を考える論説『「文殊の智慧」の時代』が掲載されている。</p>
教出	<p>学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年に、中学校での文学作品の学習を扱った『文学入門』が掲載されている。小学校で扱われた物語文が『学びナビ 物語と小説って何?』のコーナーで触れられている。</p> <p>高校との接続として、第3学年に、二十歳の主人公の生き方や心情について扱う教材『パースディ・ガール』が掲載されている。</p>
光村	<p>学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年の初めに、中学校の学習の心がけを記した単元『言葉に出会うために』が掲載されている。また既習事項の確認ができるように、ノートの取り方や辞典の引き方などが掲載されている。</p> <p>高校との接続として、第2学年に『形』、第3学年に『高瀬舟』『温かいスープ』、発展的な内容として『文語の活用』が掲載されている。</p>

⑬ 情報活用能力の育成

東書	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、ニュースを比べて、その見方について自分の考えを持つことが『ニュースの見方を考えよう』に掲載されている。著作権を学び、情報を調べたり引用したりする方法が『資料編』の『著作権と引用』に掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、事実の述べ方が読み手に与える印象の違いが『「正しい」言葉は信じられるか』に掲載されている。誰もが著作者であることを学び、正しく利用する方法が『資料編』の『著作権について考える』に掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、情報やメディアの意義について考えを深めることが『いつものように新聞が届いた』に掲載されている。情報を吟味し、信頼できる情報を選ぶ方法が『資料編』の『情報の信頼性を確かめる』に掲載されている。</p>
三省堂	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、『防災に関するデータ』グラフと、『「みんなでいるから大丈夫」の怖さ』の文章を関連づけて、地域の人々の防災意識を高める手立てを考え深める『複数の情報を関連づけて考えをまとめる』が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、『共生社会に関するデータ』の3つのグラフと、『自立とは「依存先を増やすこと」』の文章を関連づけて、共生社会の実現に向けた課題を考える『複数の情報を関連づけて考えをまとめる』が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、『情報社会に生きる—メディア・リテラシー—』を読み、『広告の読み比べ』と関連づけて、実生活で情報と適切に関わって生きる大切さを考える『複数の情報を関連づけて考えをまとめる』が掲載されている。</p>
教出	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、編集されたメディアの特徴を扱った『全ては編集されている』が掲載されている。写真を見る時の観点を知り、写真の特徴を理解し、多様な活用法を考えることが『写真で「事実」を表現する』に掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、SNSとのつき合い方を扱った『SNSから自由になるために』が掲載されている。小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について考え、小説を脚本に書き換えることが『脚本で動きを説明する』に掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、メディアの便利さと危険性を扱った『メディア・リテラシーはなぜ必要か?』が掲載されている。新聞を構成する情報を整理し、それぞれの効果について考え、社説を比較して読むことが『新聞が伝える情報を考える』に掲載されている。</p>
光村	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、『情報を集めよう』『情報を読み取ろう』『情報を引用しよう』を扱った『情報社会を生きる』が掲載されている。情報の整理や分析を扱った『情報整理のレッスン 比較・分類』のコーナーが掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、『メディアを比べよう』『メディアの特徴を生かして情報を集めよう』『「自分で考える時間」を持つ』を扱った『情報社会を生きる』が掲載されている。情報整理の方法を扱った『情報整理のレッスン 思考の視覚化』のコーナーが掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、実用的文章を読もう』『報道文を比較して読もう』を扱った『情報社会を生きる』が掲載されている。情報の編集を扱った『情報整理のレッスン 情報の信頼性』のコーナーが掲載されている。</p>

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫

東書	<p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第1学年では、『話し合いで理解を深めよう』のポイントが『学びの扉 分類する・比較する』のコーナーに、漫画で掲載されている。下欄に『学びを支える言葉の力』の参照ページが付され、そこで内容が詳細に説明されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第2学年では、『ハトはなぜ首を振って歩くのか』のポイントが『学びの扉 情報を図や表に整理する』のコーナーに、まとめて漫画で掲載されている。下欄に『学びを支える言葉の力』の参照ページが付され、そこで内容が詳細に説明されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第3学年では、『観察・分析して論じよう』のポイントが『学びの扉 多面的に捉える』のコーナーに、漫画で掲載されている。下欄に『学びを支える言葉の力』の参照ページが付され、そこで内容が詳細に説明されている。</p>
三省堂	<p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第1学年では、情報の分類の方法が、『調べたことを整理してわかりやすくまとめる』の『思考の方法』のコーナーに、図解を用いて掲載されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、下段に『学習の流れ』が示され、学習する内容が可視化されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第2学年では、説明文を仮定を用いて読解する方法が、『一〇〇年後の水を守る』の『思考の方法』のコーナーに、図解を用いて掲載されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、下段に『学習の流れ』が示され、学習する内容が可視化されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第3学年では、筆者の思いを抽象化して考える方法が、『希望』の『思考の方法』のコーナーに、図解を用いて掲載されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、下段に『学習の流れ』が示され、学習する内容が可視化されている。</p>
教出	<p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第1学年では、『桜蝶』の描かれ方について、『桜蝶』の『学びナビ 物語と小説って何?』のコーナーに図解で掲載されている。言葉の基礎事項について、生徒同士の会話のやりとりで説明した『言葉の小窓』や『文法の小窓』が掲載されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第2学年では、『虹の足』の表現方法について『虹の足』の『学びナビ 比喩・象徴』のコーナーに図解で掲載されている。言葉の基礎事項について、生徒同士の会話のやりとりで説明した『言葉の小窓』や『文法の小窓』が掲載されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第3学年では、随筆について『立ってくる春/なぜ物語が必要なのか』の『学びナビ 独自の見方考え方・固有の経験』のコーナーに図解で掲載されている。言葉の基礎事項について、生徒同士の会話のやりとりで説明した『言葉の小窓』や『文法の小窓』が掲載されている。</p>
光村	<p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第1学年では、『集める・整理する』『組み立てる』『表現する』『振り返る』といった手順が『情報を整理して書こう』に掲載されている。単元名に続いて、学習を始める動機と学習する内容を語りかけるリード文が記されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第2学年では、『見通しを持つ』『読み深める・考えを持つ』『振り返る』といった手順が『仁和寺にある法師』の『学習』に掲載されている。人物像について論じた文章の例が、発展学習『人物の特徴を捉えて論じよう』に、構成の説明とともに記されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、第3学年では、『集める・整理する』『組み立てる』『伝え合う』『振り返る』といった手順が『合意形成に向けて話し合おう』で掲載されている。単元名に続いて、学習を始める動機と学習する内容を語りかけるリード文が記されている。</p>

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。

東書	各学年とも、巻末に情報の扱い方、言葉の特徴・使い方などを扱った基礎編『学びを支える言葉の力』、『文法解説』、資料編で読み物、古典、読書案内、『話すこと・書くこと題材例』、発想・整理の方法、各種書き方、漢字一覧、折込で『学びを支える言葉の力のまとめ』などが掲載されている。『学びの扉』のコーナーなどにおいて、中学生のキャラクターが描かれた漫画を使って示されている。
三省堂	各学年とも、読書や我が国の伝統文化などを扱った巻末資料編『読書の広場 小さな図書館』『落語 桃太郎』『参考資料』、折込『思考の方法一覧』などが掲載されている。各教材が『目標』から始まり振り返りで終わるように構成されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」では学習の流れが記載され、「読むこと」では内容の整理など学習のステップが掲載されている。『読み方を学ぼう』のコーナーで『人物関連図』『人物設定』などが図解で掲載されている。
教出	各学年とも、言葉の特徴や使い方、読書などを扱った巻末『言葉と文法解説編』、読書や古典常識、アイデアの出し方、『話すこと・書くことテーマ例集』、学習に必要な用語などを扱った『言葉の自習室』、漢字一覧、折込『表現に役立つ言葉』『理解に役立つ言葉』などが掲載されている。教材の冒頭に『学びナビ』のコーナーが、教材の最後に『みちしるべ』のコーナーが掲載され、学習の見通しと振り返りができるように構成されている。
光村	各学年とも、言葉の特徴や使い方を扱った巻末『文法・漢字振り返り』、情報の扱い方や我が国の伝統文化などを扱った『学習を広げる』の『思考のレッスン』、『情報整理のレッスン』一覧、表現テーマ例集、読み物、古典、『語彙を豊かに』のコーナー、漢字一覧、折込で『学習の窓一覧』などが掲載されている。『言葉に出会うために』の『書き留める』でノートの手書き方例が掲載されている。「読むこと」の各教材の手びきがあり目標から振り返りまでの学習の過程が掲載されている。

⑯ 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。

東書	各領域の資質・能力を育成することについて、第1学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「読むこと」では、詩を鑑賞する言語活動が『詩の心一発見の喜び』の『言葉の力』のコーナーに掲載されている。各領域の資質・能力を育成することについて、第2学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「書くこと」では、より効果的に伝わるように推敲する言語活動が『郷土の良さを伝えよう』の『言葉の力』のコーナーに掲載されている。各領域の資質・能力を育成することについて、第3学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「話すこと・聞くこと」では、話の内容や表現の仕方を評価する言語活動が『評価しながら聞こう』の『言葉の力』のコーナーに掲載されている。
三省堂	各領域の資質・能力を育成することについて、第1学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「読むこと」では、考えを伝え合う言語活動が『空中ブランコ乗りのキキ』の『学びの道しるべ』に掲載されている。各領域の資質・能力を育成することについて、第2学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「書くこと」では、文章の構成や展開を工夫して説得力のある文章を書く伝える言語活動が『論説文』に掲載されている。各領域の資質・能力を育成することについて、第3学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「話すこと・聞くこと」では、状況に応じて表現を工夫し話す力を養う言語活動が『パブリックスピーキング』に掲載されている。
教出	各領域の資質・能力を育成することについて、第1学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「読むこと」では、文章の構成を捉える言語活動が『自分の脳を知っていますか』の『学びナビ』のコーナーに掲載されている。各領域の資質・能力を育成することについて、第2学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「書くこと」では、課題を設定する言語活動が『新聞の投書を書く』の『学びナビ』のコーナーに掲載されている。各領域の資質・能力を育成することについて、第3学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「話すこと・聞くこと」では、一般化しながら合意形成をする言語活動が『意見を共有しながら話し合う』の『学びナビ』のコーナーに掲載されている。
光村	各領域の資質・能力を育成することについて、第1学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「読むこと」では、場面や描写を結び付けて読む言語活動が『星の花が降るころに』の『学習の窓』のコーナーに掲載されている。各領域の資質・能力を育成することについて、第2学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「書くこと」では、作品の魅力や効果的に伝える言語活動が『魅力を効果的に伝えよう』の『学習の窓』のコーナーに掲載されている。各領域の資質・能力を育成することについて、第3学年では、各領域の『目標』において、学習する事項が掲載されている。例えば「話すこと・聞くこと」では、話し合っ合意形成する言語活動が『合意形成に向けて話し合おう』の『学習の窓』のコーナーに掲載されている。

⑰ 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。

東書	<p>語彙を豊かにすることについて、第1学年では、『様子を表す言葉』を探す活動が『さんきち』の『広がる言葉』のコーナーに掲載されている。『論理的な言葉の力』『文学的な言葉の力』『対話的な言葉の力』について、系統的な学習として、巻末『学びを支える言葉の力』に掲載されている。</p> <p>語彙を豊かにすることについて、第2学年では、『人物像を表す言葉』を考える活動が『辞書に描かれたもの』の『広がる言葉』のコーナーに掲載されている。『論理的な言葉の力』『文学的な言葉の力』『対話的な言葉の力』について、系統的な学習として、巻末『学びを支える言葉の力』に掲載されている。</p> <p>語彙を豊かにすることについて、第3学年では、『批評する言葉』を探す活動が『百科事典少女』の『広がる言葉』のコーナーに掲載されている。『論理的な言葉の力』『文学的な言葉の力』『対話的な言葉の力』について、系統的な学習として、巻末『学びを支える言葉の力』に掲載されている。</p>
三省堂	<p>語彙を豊かにすることについて、第1学年では、『断固』の意味を、似た意味の語句と比較する課題が『玄関扉』の『語彙を豊かに』のコーナーに掲載されている。『日本語と英語の音節』のコーナーに、日本語と英語の音節の数の違いが掲載されている。</p> <p>語彙を豊かにすることについて、第2学年では、意味がそれぞれ微妙に異なる、大きいことを表す言葉について考える課題が『一〇〇年後の水を守る』の『語彙を豊かに』のコーナーに掲載されている。日本語と英語の語順の違いについて『日本語と英語の語順』のコーナーに掲載されている。</p> <p>語彙を豊かにすることについて、第3学年では、『間』を含んださまざまな表現がどのような場面で使われるかについての課題が『間の文化』の『語彙を豊かに』のコーナーに掲載されている。日本語と英語の慣用表現の言葉の選び方の違いが『日本語と英語の慣用表現』のコーナーに掲載されている。</p>
教出	<p>語彙を豊かにすることについて、第1学年では、3つの言葉の意味の違いを考える課題が『自分の脳を知っていますか』の『言葉と表現』のコーナーに掲載されている。『考え方やイメージに関わる言葉』などが『理解に役立つ言葉』のコーナーに、『意見を述べる活動』の言葉などが『表現に役立つ言葉』のコーナーに掲載されている。</p> <p>語彙を豊かにすることについて、第2学年では、接尾語の使われ方について考える課題が『紙の建築』の『言葉と表現』のコーナーに掲載されている。『出来事や様子に関わる言葉』などが『理解に役立つ言葉』のコーナーに、『自分の考えを書く活動』の言葉などが『表現に役立つ言葉』のコーナーに掲載されている。</p> <p>語彙を豊かにすることについて、第3学年では、語句の意味、用例について考える課題が『問いかける言葉』の『言葉と表現』のコーナーに掲載されている。『慣用句・ことわざ』などが『理解に役立つ言葉』のコーナーに、『質問や評価をする活動』の言葉などが『表現に役立つ言葉』のコーナーに掲載されている。</p>
光村	<p>語彙を豊かにすることについて、第1学年では、集めた言葉から気持ちや状況にふさわしい表現を探す課題が『言葉を集めよう もっと伝わる表現をめぐって』に掲載されている。表現するときの参考となる『心情・様子・行為を表す言葉』が『語彙を豊かに』のコーナーに掲載されている。</p> <p>語彙を豊かにすることについて、第2学年では、抽象的な概念を表す言葉を類義語と比べて理解する課題が『言葉を比べよう もっと伝わる表現をめぐって』に掲載されている。表現するときの参考となる『抽象的な概念、見方や考え方を表す言葉』が『語彙を豊かに』のコーナーに掲載されている。</p> <p>語彙を豊かにすることについて、第3学年では、言葉の変化について理解し、相手に応じて言葉を選ぶ課題が『言葉を選ぼう もっと伝わる表現をめぐって』に掲載されている。表現するときの参考となる『見方や考え方を表す言葉、慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語』が『語彙を豊かに』のコーナーに掲載されている。</p>

⑱ 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。

東書	<p>読書活動の充実を図ることについて、第1学年では『読書への招待』のコーナーで芥川龍之介の『トロッコ』などの作品が紹介され、『作家と作品』では作家の略歴や他の作品などが紹介されている。</p> <p>読書活動の充実を図ることについて、第2学年では『読書への招待』のコーナーで夏目漱石の『坊っちゃん』などの作品が紹介され、『作家と作品』では作家の略歴や他の作品などが紹介されている。</p> <p>読書活動の充実を図ることについて、第3学年では『読書への招待』のコーナーで森鷗外の『最後の一句』など作品が紹介され、『作家と作品』では作家の略歴や他の作品などが紹介されている。</p>
三省堂	<p>読書活動の充実を図ることについて、第1学年では『私の読書体験』のコーナーで著名な作家による『本を読むことのおもしろさ』という文章が掲載され、その作家の作品が紹介されている。</p> <p>読書活動の充実を図ることについて、第2学年では『私の読書体験』のコーナーで著名な作家による『生涯の友と出会う』という文章が掲載され、その作家の作品が紹介されている。</p> <p>読書活動の充実を図ることについて、第3学年では『私の読書体験』のコーナーで著名な作家による『谷間の君へ』という文章が掲載され、その作家の作品が紹介されている。</p>
教出	<p>読書活動の充実を図ることについて、第1学年では『読書への招待』のコーナーで芥川龍之介の『蜘蛛の糸』などの作品が紹介され、『作品解説』や作家の略歴などが掲載されている。</p> <p>読書活動の充実を図ることについて、第2学年では『読書への招待』のコーナーで夏目漱石の『坊っちゃん』などの作品が紹介され、『作品解説』や作家の略歴などが掲載されている。</p> <p>読書活動の充実を図ることについて、第3学年では『読書への招待』のコーナーで森鷗外の『最後の一句』など作品が紹介され、『作品解説』や作家の略歴などが掲載されている。</p>
光村	<p>読書活動の充実を図ることについて、第1学年では『読書コラム』で著名なアニメーション映画監督の文章が紹介され、その監督が紹介する『注文の多い料理店』などの図書が掲載されている。</p> <p>読書活動の充実を図ることについて、第2学年では『読書コラム』で著名な翻訳家・文芸評論家の文章が紹介され、『翻訳作品を読み比べてみよう』では異なる訳者の『星の王子様』の翻訳作品の一部が掲載されている。</p> <p>読書活動の充実を図ることについて、第3学年では『読書コラム』で著名な小説家の文章が紹介され、『本の世界を広げよう』では『旅する絵描き』などの図書が掲載されている。</p>

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	巻頭詩、『目次』『1年で学ぶこと』『学習の進め方・教科書の使い方』『学んだことを次に生かそう』『言葉の学習を始めよう』、本編1章～7章、巻末『基礎編』（『学びを支える言葉の力』『文法解説』）『資料編』（『学習を始める前に』など）で構成されている。
三省堂	『目次』『領域別教材一覧』『この教科書の使い方 確かな言葉の力をつけるために』、本編1章～9章、巻末『文法のまとめ』『読書の広場』（『小さな図書館』など）『資料編』（『情報を活用する』『古典芸能に親しむ』『社会生活に生かす』『参考資料』）で構成されている。
教出	巻頭文、『目次』『言葉の地図』、本編一章～九章（『広がる本の世界』『漢字の練習』『四季のたより』含む）、巻末『学びのチャレンジ』『言葉と文法解説編』『言葉の自習室』『折込』（『理解に役立つ言葉』『表現に役立つ言葉』『漢字』）で構成されている。
光村	巻頭詩、『目次』『学習の見通しをもとう』『思考の地図』『この教科書で学習するみなさんへ』、本編1章～8章（『言葉に出会うために』『情報社会を生きる』『読書生活を豊かに』『読書に親しむ』含む）、巻末『文法・漢字・振り返り』『学習を広げる』（『学習の窓一覧』など）で構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB5判が採用されている。
三省堂	判型はB5判が採用されている。
教出	判型はB5判が採用されている。
光村	判型はB5判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
三省堂	『この教科書は、ユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『画数や筆順が正確に理解できるよう配慮した書体を、本文に使用しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを、タイトルの一部に使用しています。』と表記されている。
光村	『カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。』『生徒の学習負担を軽減できるよう、手書き文字との差異が少ない明朝体を開発し、本文に使用しています。』『新出漢字の送り仮名や読書案内などの小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第1学年 172ページ 風を受けて走れ（筆者が本県出身） 220ページ 一房の葡萄（横浜市） 210ページ トロッコ（小田原市、岩村） 280ページ 「常識」は変化する（筆者が本県出身） 第2学年 131ページ 平家物語（鎌倉、石橋山） 210ページ 坊っちゃん（鎌倉市、箱根町） 第3学年 295ページ 「おくのほそ道」の旅（筆者が本県出身）
三省堂	第1学年 96ページ 玄関扉（筆者が本県出身） 168ページ トロッコ（小田原市、岩村） 第2学年 116ページ 平家物語（鎌倉、石橋山、武蔵の国） 290ページ 外郎売（相州小田原） 第3学年 20ページ 握手（横浜市、丹沢、足柄茶） 88ページ フロン規制の物語（筆者が本県出身） 186ページ 坊っちゃん（鎌倉市、箱根町）
教出	第1学年 80ページ 「エシカル」に生きよう（神奈川県、鎌倉市） 第2学年 124ページ 平家物語（鎌倉、武蔵の国、石橋山） 146ページ 坊っちゃん（鎌倉市、箱根町） 第3学年 170ページ 俳句十五句（作者が本県出身） 裏表紙内側 「ふるさと」を巡る～文学にゆかりのある風景（横浜市）
光村	第1学年 278ページ 坊っちゃん（鎌倉市、箱根町） 第2学年 114ページ 表現を工夫して書こう 手紙の例（小田原市） 148ページ 平家物語（鎌倉、石橋山） 292ページ 宮本武蔵（作者が本県出身） 第3学年 14ページ 握手（横浜市、丹沢、足柄茶） 275ページ 真鶴

② URL、二次元コード等の掲載の有無

発行者名	1年	2年	3年			
東書	有	有	有			
三省堂	有	有	有			
教出	有	有	有			
光村	有	有	有			

③ 一冊ごとの重量(g)

発行者名	冊数	1年	2年	3年		
東書	3	584	590	602		
三省堂	3	565	567	541		
教出	3	583	601	581		
光村	3	574	569	549		